

## 平成25年度予算に関するご意見

## 花井委員

- 「がん総合相談に携わる者に対する標準研修プログラム策定事業」について、これまでに開発されたプログラムを踏まえて、各都道府県の実情にそったプログラムを開発し、ピアサポーターの養成を都道府県および地域の医療機関、NPO、市民団体等との連携協力のもとに進めること、さらに、養成と同時に医療機関等の活動の場を開拓し、現在のプログラム策定事業だけではなく、各都道府県に向けてピアサポーター養成の予算が必要。

## 松月委員

- 「がんと診断されたときからの緩和ケア」を実施するためには、診断された初期にケアを実施できる医療職の教育・研修が重要であるが、まだ日本の実情にあった統一した初期対応の教育プログラムが存在しない。その作成と教育・研修のための予算が必要。
- 女性のがん対策、就労に関する問題への対応や働く世代の検診受診率の向上には市町村で働く保健師の業務過多となっている。保健師を増員するための予算が必要。